がん診療連携拠点病院等病理診断機能支援事業セミナー

技術革新と部門間・施設間連携による病理診断
ー最適ながん診療のためにー

我が国では、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、がん医療水準の「均てん化」の実現のため、がん診療連携拠点病院を整備しています。しかし、全国的な病理医不足は深刻な問題となっており、テレパソロジーシステムを用いた遠隔病理診断の活用が期待されているところです。治療分野においても分子生物学的手法により、腫瘍発生のメカニズムが遺伝子レベルで明らかにされ、有効な治療法が提供されています。分子標的治療が臨床の現場に導入されて10年以上が経過し、病理診断検査はその中心的役割を果たしています。本セミナーでは、医療の現場で病理診断業務に携わっている講師の先生をお招きし、病理部門の実務者における病理診断検査の現状について考えます。

日時 平成28年2月26日(金) 19:00～20:30

場所 ホテル日航熊本 5階 天草A (熊本市中央区上通町2-1)

講演 〈座 長〉熊本大学医学部附属病院病理部 部長・教授 三上 芳喜

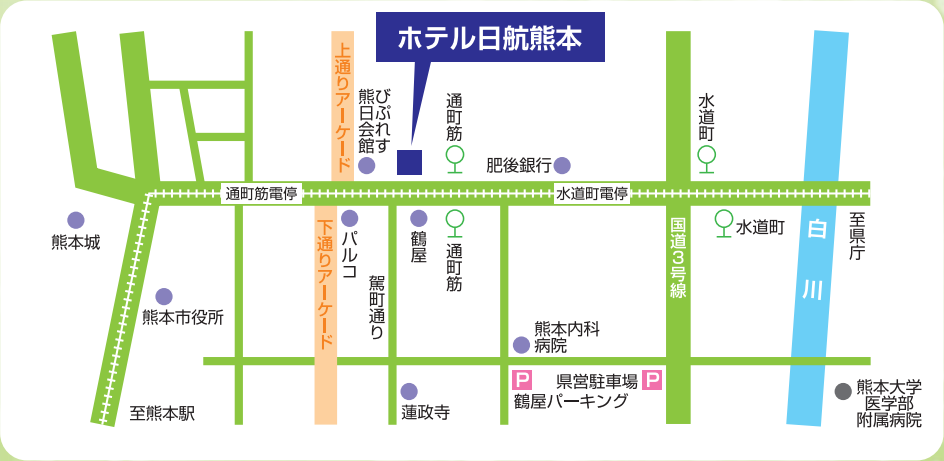
19:00～19:45 「多地点を結ぶ遠隔病理診断の試み
A Trial of Integrated Telepathology (iTP)」
京都大学医学部附属病院 病理診断科 講師 吉澤 明彦 先生

19:45～20:30 「分子標的治療時代の病理検査室のあり方」
関西医科大学 病態検査学講座 教授 蔦 幸治 先生

対象者 がん診療連携拠点病院等の病院長、病理医、細胞検査士、臨床検査技師、医療情報関連の医療従事者など

参加申込 「参加申込書」を平成28年2月19日(金)までに下記担当へFAXにより申込み。

会場案内図



参加費無料

お問い合わせ先
熊本大学医学部附属病院総務・人事ユニット 地域支援担当 〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
TEL:096-373-5663 FAX:096-373-5952 E-mail:byo-shien@jimu.kumamoto-u.ac.jp